

# 競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は2024年度（公財）日本陸上競技連盟規則に準ずるが、児童である年齢の参加者や一般初心者の参加を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。
- 2 本競技場内での練習は役員の指示に従うこと。トラック競技は最初の競技開始5分前までとする。（100m走時はバックストレート使用可）
- 3 駅伝のオーダーは、受付時に競技者係に申し出ること。
- 4 招集時間 ① 第一招集 個人種目は種目競技開始30分前までに第一コールを招集所競技者係（メインスタンド1F北側）で行うこと。また駅伝種目は競技開始1時間前までにオーダー表提出を招集所に提出すること。  
② 最終招集 1 個人種目は競技開始10分前までに各出発地点に集合。  
2 駅伝は小学生競技開始10分前までに中学以上の選手もスタート地点フィールド集合。
- 5 中学生・高校生・一般は登録番号のアスリートビブスを持参し、使用すること。小学生は前だけ配布ビブスを付けること。但し車椅子競技はヘルメット右側（シール）とする。
- 6 トラック競技に出場する者は、写真判定用の腰ナンバーを競技者係で受けとり（小学生は事前配布）、右腰やや後方に付けること。競技終了後は返却不要。
- 7 スパイクシューズは使用してもよいが、必ずトラック7mm、フィールド9mm以下の平行ピンを使用すること。なお、小学生800m、1000mはスパイク着用不可。靴底の厚さは、100mは最大20mm。800m以上は最大25mm。フィールドは最大20mmとする。
- 8 競技方法 ① 最終招集を完了したら、役員の指示に従ってすべての競技者は各出発地点で待機すること。  
② 短距離種目のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、小学生はスタンディングスタートも認める。  
③ スタート合図は英語とする。  
④ 中学生以上登録者の不正スタートは失格とする。なお、小学生の不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタート競技者は全て失格とする。  
⑤ 個人種目におけるトラック種目競技者は、プログラム記載のレーン番号の腰ナンバーを付けること。
- 9 ナイター駅伝規定  
① 集 合 チームは、競技開始1時間前までに受付・オーダーの申し出を済ませておくこと。集合のアナウンスがあれば、全選手本部前フィールドに集合すること。なお、1区～5区の全区間の点呼を同時に行うので、必ず時間厳守のこと。

- ② チームの明示  
フィニッシュ ① 駅伝用アスリートビブスは必ず胸面に付けること。  
フィニッシュは6～8レーンを使用する（スタート前に説明）。  
② たすきを肩にかけない選手は失格とする。
- ③ 中 継 中継は、所定のたすき（チーム独自のたすき持参可）の授受により行う。また、中継所の受け渡し区域は中継線より前方20mまでとする。なお、中継は1～5レーンを使用する。主催者用意のたすきはアンカーが必ず返却すること。
- ④ 競技中の事故 競技中、万一正選手に不慮の事故があった場合は競技運営上、困難な面があるので、次区間から次走者を出発させる。この場合、最終走者通過後にスタートさせ、オープンとして扱う。（記録・表彰なし）
- ⑤ 妨 害 競技中の選手の前進を妨害した選手は、審判長の判断によりこの競技から除外されることがある。
- ⑥ 競技の中止 競技中、移動審判員から競技の中止を命じられた選手は、直ちに競技を中止しなければならない。
- ⑦ コースの誤走 選手が、所定のコースを走らない場合は、競技より除外する。ただし、誤走に気づき所定のコースに復した場合は、競技を続けることを認める。
- ⑧ 走 路 コーナーポスト配置箇所はその右側を走ること。
- ⑨ ウォーミングアップ ウォーミングアップは中継所付近フィールド内で、役員の声が聞こえる範囲で行うこと。もし、離れた付近で行った場合に中継に遅れても一切役員は関知しない。また競技中の選手以外は、フィールド内に決して入らないこと。

- 10 その他 ① 大会中の疾病、傷害等の事故については応急処置のみ主催者で行うが、その後の責は負わないので各自で十分注意すること。
- ② 競技運営上、進行を妨げるような事故が発生した場合は、審判長が最終決定する。
- ③ トイレは、メインスタンド内トイレ（1・2階）及び競技場外周トイレを利用すること。
- ④ 競技場スタンド更衣室を使用してよいが、貴重品の管理は各自で行うこと。紛失の責任は負わない。
- ⑤ 選手及び関係者の、競技場内での飲食及び喫煙は、指定場所以外では一切禁止する。ガムを噛むなどの行為は厳重に注意すること。